

クリスタルレイン 極みシリーズのガラスコーティング剤はダイヤモンド微粒子配合の高級仕様です。長期持続する深い艶と高撥水により汚れを付きにくく、お手入れを楽にします。

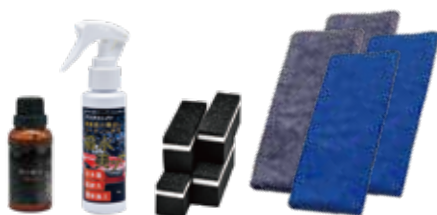
プロ仕様のガラスコーティング剤です。必ず最後までよく読み、正しく施工してください。

施工可能箇所／ボデー塗装・樹脂部分 ※未塗装樹脂・ガラス・ゴム・ミラー・やわらかいモールには施工できません。付着した場合は、直ちに拭き取ってください。

■施工前の準備

1 同梱物の確認

- ・極みシリーズ ガラスコーティング剤 30ml
- ・スーパートップコート 100ml(※メンテナンス用)
- ・ガラスコーティング専用スポンジ
- ・マイクロファイバークロス



※形や色は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

2 準備するもの

- ・洗車用品一式
(脱脂シャンプー・洗車スポンジ・拭き上げクロスなど)
- ・マスキングテープ ※必要に応じて
(液剤が付かないよう未塗装樹脂などを保護)

■施工手順

1 洗車と乾燥



ボデーについた汚れやホコリを洗い落とします。また古いワックスなどを脱脂してください。その後、**水滴を完全に拭き取ります。**

※塗装面に傷や劣化がある場合は下地処理を行ってください。

2 塗り込み



ガラスコーティング剤をよく振ります。キャップを開け、付属のスポンジに液を数滴つけボデーに塗り込みます。

※小さい面(給油口など)でテストしてください。

3 拭き取り



付属のクロスを用いて塗り込んだコーティング剤を**ムラがないよう拭き取ってください。**ムラになっている部分は光の反射により虹色に見えます。角など特に注意して拭き取ってください。

※約10分で硬化が始まります。時間を空けずに拭き取ります。

4 仕上げ



拭き残しがないか縦横斜めなどいろいろな角度からスジやムラが残っていないか必ずチェックしてください。

5 乾燥

表面硬化のため2時間ほどおき、水・雨・ホコリの付着に充分注意してください。その後は走行可能です。1週間から10日は水やホコリがついたらすぐに乾いたクロスで拭き取ってください。

メンテナンス



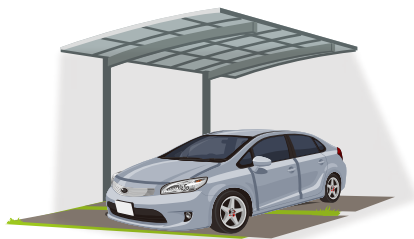
通常は水洗いを行います。ただし撥水効果が薄れてきたらスーパートップコートを施工します。水洗い後にボデーを拭き、30cm四方に1プッシュしてマイクロファイバークロスで拭き上げてください。

■ 施工ポイント

施工ポイント 1 ▶▶ ボデーの温度をチェックする

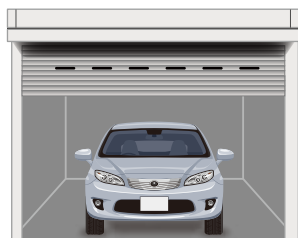
車のボデーを手で触って熱くない状態で施工してください。※ダークカラーの車は特に注意が必要です。

日陰
または
20℃以下の
屋外



30℃以下の
屋内

※換気のできる場所



炎天下での
施工



ガラスコーティング剤を塗った直後から硬化が急速に進むため、ムラになりやすく拭き取りが出来なくなる恐れがあります。ムラになって硬化すると洗車等では、修復できかねます。

施工ポイント 2 ▶▶ パネルごとに分割して施工する

必ずパネルごとに

① 塗り込み ▶ ② 拭き取り ▶ ③ 仕上げ

の順で施工してください。

○ 小さい面でテストする

目立たないところや給油口など小さい面で塗り込みや拭き取りの感覚などをテストしてください。



○ パネルごとに施工する

パネルごとに作業し、ボンネットやルーフなどの大きなパネルは、細かく分割して施工してください。



⚠ 注意

スポンジに液を付けすぎない

液を付けすぎると拭き取りが難しく施工は困難になります。

全体に一気に塗りこまない

分割しないで一気に塗ると、その間に硬化が進み、拭き取りが出来なくなる恐れがあります。



一気に塗り

仕上げ直後に二度塗りしない

初期硬化が終わっていない段階での二度塗りは、ムラになる恐れがあります。

施工ポイント 3 ▶▶ ガラスコーティング剤はすぐに拭き取る

スポンジで塗り込んだあと時間を置かずに拭き取り、仕上げへと進めてください。

○ 塗り込み後は時間を置かない

スポンジで塗り込んだ後、約10分で硬化が始まります。時間を置かずに進めると抵抗なくサラサラと拭き取りが出来ます。



⚠ 注意

コーティング剤を乾かしすぎない

・気温や作業場所により、作業時間(硬化時間)が異なります。

・炎天下では5分もしないうちに硬化が始まることがあり、施工は困難です。



・拭き取りをせずムラのまま硬化が進むと艶は得られません。また修復にはポリッシャーなどでの磨きの技術が必要となります。

